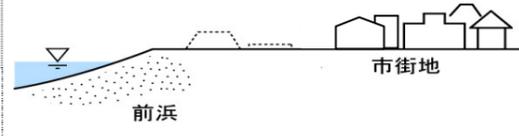
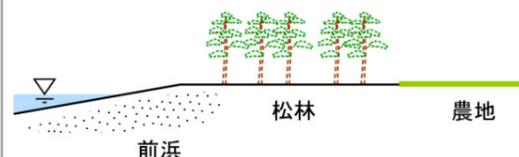
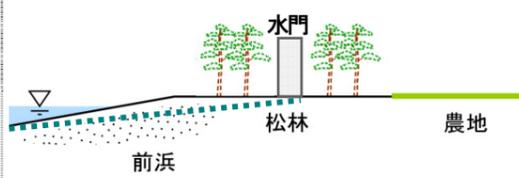


ケーススタディ地区における景観配慮の検討(案)

	ページ
① A 地区: 地形:リアス式海岸部/背後地:農地等/河口部:有(水門) 【リアス式(短)+前浜】	A-1
② B 地区: 地形:リアス式海岸部/背後地:海岸林・海岸湖沼/河口部:有 【リアス式(長)+前浜+海岸林の連続/河川河口部】	B-1
③ C 地区: 地形:離水海岸部/道路・市街地等/河口部:無 【前浜+市街地】	C-1
④ D 地区: 地形:離水海岸部/背後地:海岸林/河口部:無 【前浜+海岸林の連続】	D-1
⑤ E 地区: 地形:離水海岸部/背後地:海岸林/河口部:有(水門) 【前浜+海岸林の連続(内陸側に大きく侵食)/河川河口部(防潮水門残存)】	E-1
⑥ F 地区: 地形:離水海岸部(砂嘴)/背後地:潟湖/河口部:無 【前浜(砂嘴)】	F-1

※本資料は、施設復旧に当たって活用可能な景観面での配慮事項、配慮方法を分かりやすく示すことを目的に、被災した地域に典型的に存在する地形や背後地利用等をもとに6つのケーススタディ地区を設定し、それぞれの地区の条件に即した具体的な景観配慮の事例を作成したものである。
したがって、個々の地区における事例は、実際の現場での復旧計画を示すものではない。

地区	区分	検討対象施設	景観配慮のポイント	検討パターン案	主要な視点場			
					①天端	②海側	③陸側	
A地区	地形:リアス式海岸部 背後地:農地等 河口部:有(水門)		・海岸堤防 ・水門	・山付き部における法線形設定の工夫 ・引堤による自然空間の確保 ・狭隘な地形における閉塞性の緩和 ・水門デザインへの配慮	A:原位置復旧+水門	●	●	●
					B:引堤+水門	●	●	●
B地区	地形:リアス式海岸部 背後地:海岸林・海岸湖沼 河口部:有		・海岸堤防	・重要拠点(海浜公園)の景観形成	原位置復旧	●	●	
C地区	地形:離水海岸部 背後地:道路・市街地等 河口部:無		・海岸堤防 (道路)	・道路・市街地との一体性の確保	A:原位置復旧	●	●	●
					B:堤防と道路の一体整備	●	●	●
D地区	地形:離水海岸部 背後地:海岸林 河口部:無		・海岸堤防	・連続する単調な海岸堤防への工夫 ・景観誘導の工夫	A:原位置復旧	●	●	●
E地区	地形:離水海岸部 背後地:海岸林 河口部:有(水門)		・海岸堤防 ・水門	・引堤による自然空間の確保 ・引堤による海岸堤防の見える軽減 ・海岸堤防と水門のすり付け部の工夫	A:原位置復旧+水門	●	●	
					B:引堤+水門	●	●	
F地区	地形:離水海岸部(砂嘴) 背後地:潟湖 河口部:無		・海岸堤防 (道路)	・重要拠点(観光コース)の景観形成	原位置復旧 (堤防と道路の一体整備)	●	●	

【景観配慮の方法】 ケーススタディ地区で検討する景観配慮の方法として、以下を想定する。

- ・堤防位置・線形(地形等の観点から)
- ・堤防の端部処理(天端、法肩等)
- ・堤防の表面処理(表面材質感)
- ・裏法尻等の覆土
- ・堤防に縦断的な変化を持たせるための分節化
- ・海岸林(松林等)、樹木等の活用
- ・階段等の付帯施設における景観配慮
- ・水門等の構造物における景観配慮
- ・重要拠点としての景観配慮